



社会福祉法人こころん 設立記念式典



4月1日にNPO法人から移行した「社会福祉法人こころん」の第1回総会にかわる設立記念式典・講演会が9月10日、ホテルサンルート白河で開催され、県内はもちろん関東、関西などからスタッフをふくめ100名超が来場しました。

開会の挨拶として関理事長より「利用者の増加とそれともなうサービスの向上が目的」と法人化の目的の説明があり、続いて県会議員の三村博昭氏、白河市長の鈴木和夫氏、矢吹病院院長横山昇氏から、法人化にむけての期待の言葉などをいただきました。

白河郵便局で働くこころんメンバーの栗原真さんは、利用者代表として現在にいたる経緯を「体験談」として話しました。そして同じ病気をもつ仲間、「病気になったのは最悪だなと感じているだろうが、良いことも悪いことも経験に無駄は無い。全部生かせると思う。希望をもって生きていこう」と呼びかけました。

また、常任理事の熊田芳江施設長からはこころんの活動紹介がありました。目指しているのは、「障がいのあるなしにかかわらず、誰もが安心して暮らせる地域社会。そのためには、地域の人たちにも理解が必要。こころんの活動をたくさんの人に広めていくお手伝いをお願いしたい」と訴えました。



堂本暁子さん

式典後は堂本暁子(前千葉県知事)さんによる「災害後の心と体の健康 ～差別や偏見のない地域づくりを目指して～」と題した講演会を行いました。災害後に訪問した福島市あづま公園避難所の様子や、千葉県で障がい者の皆さんたちと一緒に作った制度作りの様子などが紹介され、そして講演の後半では、堂本先生がTBS報道記者時代に制作した「報道特番」から北海道の精神障がい者の入院時から退院後の支援組織発足までを追ったビデオ作品が紹介されました。

こころんとともに地域で障がい者を支える

福島県立矢吹病院 横山昇院長

我々が目指すところは、従来の収容中心型の精神科病院から完全な脱皮です。今、国全体が、精神障がい者の方々を地域に戻して、地域で支えていこうという動きが出てきております。わたくしもまさにその通り行動していきたいと思っています。我々医師の集まりでも、地域の中にどんどん入っていこうという考えが増えてまいりました。今までできなかった分を、これからは当事者に対し医療という側面からできるだけのご協力をし、支えていきたいと思っています。

それと同時に精神病院はどんどん規模を縮小していった最終的にはアウトリーチを中心とした、われわれ医師・看護師が地域の中に入って行って、当事者の方々と一緒に生活をしながら支えあうシステムをなんとか実現できないかと思って検討しているところです。

これからもずっとこころんさんのそばにいてご協力申し上げたいと思います。

こころんスペシャル交流会2011 初めての当事者研究・交流会 大成功！～笑いあり、涙あり、それがこころん



べてるの家の向谷地さんの話、メンバーはみな真剣な表情。

10月28・29日、那須甲子青少年自然の家で、こころんスペシャル交流会が開かれました。午前中の部は自然に囲まれた中でのバーベキュー。午後の部は交流室に移り、実行委員長・Kさんの開会宣言で始まり、藤木東北厚生労働局長、べてるの家の向谷地さんが応援にかけつけてくれました。



♪あいたかった～
YEAH!
思わずみんなで大合唱

浪江町から二本松に避難中の作業所、「コーヒータイム」のみなさんがかけつけ、ダンスを披露してくださいました。

笑って、踊って、これが交流

ボランティアサークルみなみさんのアイスブレイキングでみんながなごんだところで、パフォーマンス大会へと会は移ります。レクダンスやギターの演奏、なごみの家名物の劇など、それぞれ味のあるパフォーマンスが観られました。

第2回こころん夢大賞には4の方がエントリーし、みなの前で大いに夢を語り、会場からも大きな拍手を受けました。病院のデイケアに自転車で通い続け、こころんでは農業班で汗を流した話を語ったSさんが見事優勝しました。おめでとうございます！他3名の夢もステキでした。

べてるのみなさんを迎えて、初の当事者研究発表!

お茶休憩をはさみ、いよいよこころん初の当事者研究発表。当事者研究の先駆者である北海道べてるの家のみなさんがゲストとして参加くださり、向谷地先生より当事者研究の意義についてお話いただきました。当事者研究は3名のメンバーが、それぞれの方法で自由に表現したのが印象的でした。これぞこころん流?という交流会だったのではないのでしょうか。機会があればまた参加したいと思えるような会でした。(Koji)



手書きのイラストで表現した「紙芝居式」研究発表は、向谷地さんからも新しい発表の形と評価いただきました。

こころん夢大賞を受賞!

那須甲子青少年自然の家に来たのは小学校以来です。バーベキューをした時、食材が少なくて足りるかなあと思いながら食べていたら、後から肉や野菜がでてきたので、お腹いっぱいになりました。そのあと、食器や釜、鉄板を片付けるのが、わからずとまどってしまいましたが、最終的には片付けられたので良かったです。

午後のプログラムでは「こころん夢大賞」にエントリーしました。発表した時にとても緊張し、どうなるかなあと心配しましたが、なんとかなってほっとしました。まさか大賞を受賞するとは思っていませんでした。

夜の交流会では、酒を飲んだので、酔っ払ってしまって、「明日大丈夫かな」と思ってた、二日酔いになり、頭が痛かったです。

最後に、交流会に参加して、とてもためになり、楽しく過ごせたので良かったです。(関根勝明)

*関根さんの夢は、こころん通信でその後を追いかけてみます。ご期待下さい!

司会でデビュー

那須甲子青少年自然の家には、色々な人達と交流を深めました。発表者のそれぞれの入院時の苦しさや、現在の状況を聞きました。私と同じ思いをしたんだなと感じました。

退院の時は私はもう入院したくないと思いながら7回入退院を繰り返しました。

それからそれぞれのパフォーマンスは笑いもあり、「楽しんご」でした。

また、私のもう一つの楽しみ夜の宴会の時、アルコールも出て大いに楽しみました。

私は司会をするのが初めてで緊張しましたが、こころんのスタッフと一緒にだったので心強かったです。

(小林榮)

なごみの家の名物、全員参加の「なごみ劇場」。今回は「大きなカブ」をうんこらしよ。どっこいしょ。



べてるまつりを視察しました

■震災以降、初めてのべてるまつりと当事者研究発表会は、例年より2ヶ月繰り下げて8月26日・27日に開催され、こころんから4名が参加しました。

まずパネルディスカッションでは震災についてなど、いくつかのグループが発表しました。一人の女性が「ステージの袖に子供がいる。恥ずかしくて挨拶ができない」と発言しました。それは彼女の幻覚なのですが、パネラーが「3年前から5歳なんですよ」と話を受け入れていることに驚きました。

そして当事者研究発表では8人の方が、自分で病名をつけて出られました。「自分が頭で考えていることが皆に伝わっていると感じる」「毎晩頭の中で居酒屋が開店している」「デイケアで女子バレー観戦してからお気に入りの選手が幻聴に出る」などいろいろな発表がありました。全国から発表する方も聞く方も集まり、興味深い時間が過ごせました。病状が悪くならないよう、障害をドリームのように受けとめて進もうとしている姿勢に共感できました。

そして当日、嬉しいニュースがありました。来年の当事者研究全国大会が福島の地で行われるのです。僕たちのテンションも上がりました。べてるまつりの途中、来場者へ感想を聞かれたので、私はマイクを通じて、まつりの感想と福島県のこころんから来たこと、来年の当事者研究を楽しみにしていることをアピールしてきました。終始充実した、べてる視察でした。(Micky)



べてるの施設ごとに、替え歌で仕事内容などを紹介。そのユーモアあふれる歌詞に、会場から思わず笑い声が。

べてるが経営する、カフェぶらぶらと、名物の「幻聴・妄想パフェ」



■私はべてるに行けることになり、嬉しいものの自分が乗り物に乗れるか心配でした。幻聴がほとんどなくなった今も、また幻聴が起きるのが不安で、公共交通機関の利用を避けてきたからです。

でも一緒に視察に行ったみんなと話をたくさんしていると気がまぎれてへっちゃらでした。やればできるんだ一っと思いました。

べてるまつりは本当にすごかったです。笑いをとり、感動を与え、そして何より進行が本当に上手でした。発表者が言葉につまっても、司会の方が声をかけ、見ている来場者をあきさせない。

本当に面白かったです。視察中は疲れと不安で余裕がなかったのですが、無事に帰ってきた今は、また行きたいと思います。また視察を通じて、自分も当事者研究にチャレンジしようと思うようになりました。

第7回 こころん チャリティー アート展

2011年11月26日(土)・27日(日)

会場：生活支援センターこころん

時間：10～17時まで（最終日は16時まで）

こころん 泉崎村大字泉崎字下根岸9 TEL 0248-54-1115



陶芸・絵画・写真・織物・木工など、芸術作品の展示即売会

おかげさまで、 こころやは5周年

10月8日、迫力ある太鼓の演奏を合図に、大勢のお客さま、生産者に囲まれ、「こころや5周年記念感謝祭」が盛大に行われました。

10時の開店と同時に、店はお目当ての品を探すお客さまであふれるばかり。また、コンテナ市には日頃からお世話になっている生産者にご協力いただき、駐車場も売場に大変身。実際品を取って、会話を楽しみながら買い物をする方に大好評でした。空くじなしの抽選券は、1,000円以上お買い上げのお客さまに配られ、見事1等を当て、りんごの箱物を自慢げに帰るお客さまもいました。こころや恒例の甘酒もふるまわれました。



なごみの揚げたてコロッケは大好評！

カフェでは、当日、グリーンカレーや海源卵を使った卵かけご飯が、それぞれ特価でだされ、舌鼓を打ちながら食べていらした方もいました。そして、店の周りでは、生産者・小泉さんの焼き鳥、なごみの家のコロッケ、こころん金魚すくい、また、こころんファクトリーの小物、手芸品とあり、盛り沢山。老若男女を問わず、楽しめる工夫が凝らされていました。お客さまにも喜んでいただけたことと思います。

ここまで私たちを見守っていただき、毎朝、野菜等を納めてくれる生産者の皆さま、日頃から足を運んでくださるたくさんのお客さま。みなさま一人ひとりにお礼がしたいと思って望んだ5周年記念感謝祭でした。

今年は震災・原発事故の風評被害等、問題が山積した一年で、厳しい経営でしたが、なんとかお店を運営できたのも、生産者・お客さまのお陰でした。改めて感謝申し上げたいと思います。

また一緒に仕事をしているフローアー・カフェのメンバーのみなさん、こころやに携わったスタッフのみなさんに感謝申し上げます。みなさんがいなければ、私はここまで、やってこれなかったと思います。

無事、節目の「5周年」が終わりました。また気持ちを新たに、一日一日を大事にし、懸命に努力して、次の「10周年」を目指します。これからも、末永く「こころや」をごひいきにしてください。(栄)

こころやのあゆみ

2006年10月
こころや開店

障がい者自立支援法施行に伴い、就労移行支援・継続支援B型事業を開始。訓練施設としてこころやが開店。



2007年9月
ふるさと恵みの店に指定

地産地消に積極的に取り組んでいるとして、福島県より「ふるさと恵みの店」の指定を受けました。



2007年10月
外販活動スタート

こころやをもっと知ってもらおうと、移動販売をスタート。毎週金曜日に、泉崎村天王台と白河市内を訪問しています。



2007年12月
にこにこ屋開店

白河市本町に空き店舗を利用したチャレンジショップ(毎週木曜日)が開店。こころやが協力することに。



2011年5月
こころやカフェから菓子工房が独立

カフェ部門で担当していた菓子作りを、より充実させるために独立。生活支援センターこころんの増改築し、菓子工房を新設しました。



活・動・報・告

6月28日 裏磐梯・雄国沼を散策

6月のレクリエーションは裏磐梯へ登山に行きました。山頂まで歩くコースと、バスを利用するコースに分かれましたが、自分はシャトルバスで頂上まで行って、下りるコースで歩きました。

雨が降っていたので、みんな濡れながら騒ぎながら、お昼を食べる山小屋まで歩き、疲れた様子でお昼を食べました。その時、霧がかかっていた。雨が降ったり止んだりして、下まで歩きみんな疲れた様子でバスに乗りました。次の日、筋肉痛になったけど、楽しい登山でした。(T.K)



7月10・11日 施設交流旅行

■こころんを利用し今年で3年目。今年度はレクリエーション実行委員となり、初めての施設交流旅行。

7月11・12日の両日、千葉県浦安市にある東京ディズニーシーへこころんのスタッフ、実習生、利用者50名でバスを貸しきって行きました。バスの中では、みんなワクワクの世界にひたっていました。私もその中の一人です。

バスは一度宿泊するホテルで個人の荷物をおろし、いざディズニーシーへ。到着してから全員で記念に集合写真を撮りました。その後、グループごとに分けられました。私たちのミッキーハウス班8人は、昼食を食べながら、ミッキーマウスやミニーマウス等のげきを見ました。

その後いろいろな乗り物にのりました。最後にのったタワーオブテラーが最高な乗り物でした。とても楽しい旅行でした。機会があれば又行きたいです。(藤野正史)

■ 私たちシンデレラ班は、ショーを中心に見ました。タートルトークでは驚き、ビッグバンドビーでは感動、マーメイドラグーンでは神秘的で迫力があつた物語でした。

夕食に食べた、ピザのマルゲリータは、本場の石釜で焼きあげてモチモチして美味しかったです。ミッキーとミニーに出会えて、夢と希望をありがとう、ディズニーシー。(S.M)



2012年こころんカレンダー

こころんの利用者が、
絵画教室やカラーセラピー
教室で描いた作品を使って
カレンダーを作りました。
作品1枚1枚にみんなの想いや
希望が込められています。



インテリアとして、大変使いやすい
卓上カレンダーです。

700円



こころん ひまわりプロジェクト

「放射性物質が減るかもしれない！」「安心して食べられる野菜を作りたい！」との思いから、こころんファームのメンバーが中心となり6月！！ひまわりの種を蒔きました。

その種が見事に成長し、この夏、こころや脇の畑には大輪のひまわりが咲き誇りました。太陽に向かって堂々と咲くひまわりに、こころやを訪れるお客様や私たちの心も、ずいぶんと励まされたように思えます。

しかし、このひまわりには、一つ不思議な現象が起きていたのです。ひまわりは太陽に向かって咲くのは皆様もご承知のとおり。ですが、ひまわりがどこを向いてさくのかは厳密には分からないのです。ところが、今回蒔いたひまわりは、そのほぼすべてがこころやのほうを向いて花開いたのです。そして、この一斉に咲くひまわりはやがて、こころやのお客さまから「奇跡のひまわり」と呼ばれるようになりました。震災による被害や原発の風評被害に私たち農業者が肩を落とす中、ひまわりたちには放射性物質だけでなく、悲しみや落胆の気持ちも吸ってもらった気がします。(関根考迪)

Thankyou

寄付・寄贈をいただいた方 (敬称略・順不同)

- 【寄附】相原 茂 佐倉 孝 鈴木公雄 JANNET 授産事業振興会
 国際医療福祉大学実習生病院復興支援会 JANNET 有志 三津山よう子
 天野宗和 鈴木泰子 小泉圭二 金子鮎子 石下恭子
- 【寄贈】橋本清寿 岩田文子

□■こころん後援会にご入会ください■□■

社会福祉法人こころんは、障がいのある人びとが、地域の中で安心して生活できるよう、「障がいのある人も無い人も安心して暮らせる地域作り」を目指しています。

こころんの活動に賛同しご協力頂ける会員を募集しています。会費は無料です。ぜひご入会下さい。

*会員について

この会に賛同する個人及び団体または事業所を対象とします。

会員の皆さまには会報をお届けします。

各種行事等のご案内を差し上げます。(行事に、ボランティアで参加することもできます)

活動報告	今後の予定
6月28日 レクリエーション・登山(那須岳)	11月23日 新そばまつり at こころん
7月4日 こころん環境整備	11月24日 絵画・カラーセラピー
7月11・12日 施設交流旅行(ディズニーシー)	11月26日・27日 こころんチャリティアート展
7月23日 こころや・いわき海産物応援フェア	こころや・新そばランチ提供
8月7日 白河関まつりにこころやが出展	11月29日 就業セミナー
8月10～15日 こころや花市	12月30日まで こころや歳末セール
9月1日 こころん環境整備	12月13日 クリスマス会
9月10日 社会福祉法人こころん設立記念式典	1月6日 こころや・にこにこ屋初売り
9月27日 レクリエーション・映画鑑賞	
10月8日 こころや5周年記念感謝セール	
10月28・29日 こころんスペシャル交流会 2011	
10月30日 泉崎産業収穫祭にこころやが出展	